



令和5年度
学校法人栗原学園

事業報告書

令和 5年 4月 1日から
令和 6年 3月31日まで

1. 法人の概要

(1) 学校法人の沿革

昭和	30年	4月	北見市幸町にて北見簿記専門学校を開設
昭和	31年	4月	北見簿記専門学校 北海道知事認可
昭和	42年	3月	校名を北見商科専門学校に変更
昭和	51年	4月	校名を北見商科高等専修学校に変更
昭和	60年	11月	北見情報ビジネス専門学校 開校
平成	10年	2月	オホーツク社会福祉専門学校 開校
平成	16年	1月	オホーツク社会福祉専門学校2号館 落成
平成	16年	4月	オホーツク社会福祉専門学校保育課 開校
平成	16年	9月	遠軽研修センター 設置
平成	19年	9月	栗原学園グラウンド「グリーンティング広場」完成
平成	21年	10月	北見商科高等専修学校校舎リニューアル オホーツク社会福祉専門学校歯科衛生士科校舎 落成
平成	21年	12月	北海道厚生局より歯科衛生士科認可指定
平成	22年	4月	オホーツク社会福祉専門学校歯科衛生士科 開学
平成	23年	9月	オホーツク社会福祉専門学校こども未来学科 認可
平成	26年	3月	文部科学省より職業実践専門課程認定 北見情報ビジネス専門学校（総合事務科・情報通信科） オホーツク社会福祉専門学校 （介護福祉科・こども未来学科・歯科衛生士科）
平成	26年	6月	39キャンパス 完成
平成	29年	4月	北見情報ビジネス専門学校ホテル観光ビジネス学科 開設
平成	30年	4月	企業主導型保育園「こどもの国ステラ」開園
令和	元年	9月	高等教育修学支援新制度認定 北見情報ビジネス専門学校 （総合事務科・情報通信科・ホテル観光ビジネス学科） オホーツク社会福祉専門学校 （介護福祉科・こども未来学科・歯科衛生士科）
令和	2年	3月	文部科学省より職業実践専門課程認定 北見情報ビジネス専門学校（ホテル観光ビジネス学科）
令和	2年	12月	栗原学園体育館 落成 栗原学園資料展示室 完成
令和	3年	6月	ドローン教習所 栗原学園北見校 開校
令和	4年	11月	栗原学園39キャンパステストセンター 設置
令和	6年	3月	栗原学園シェアハウス 完成

(2) 生徒・学生数の状況

学科・定員・現員（令和6年5月1日時点）

名 称	学 科	年 限	定 員	定員合計	学生数
北見商科高等専修学校	商業科	3年課程	80	240	150
(北海道有朋高等学校)	(経理科)	(3年課程)	(80)	(240)	(150)
北見情報ビジネス 専門学校	総合事務科	2年課程	30	60	25
	情報通信科	2年課程	30	60	46
	ホテル観光ビジネス学科	2年課程	20	40	4
オホーツク社会福祉 専門学校	介護福祉科	2年課程	40	80	37
	こども未来学科	2年課程	40	80	53
	歯科衛生士科	3年課程	30	90	25

(3) 役員の数（令和6年5月1日現在）

理 事 6人

監 事 2人

評議員 13人

(4) 教職員数（令和6年5月1日時点）

学園全体	正職員	講 師
	35名	89名

2. 事業の概要

(1) 概要

栗原学園は昭和30年に初代理事長である栗原太郎が経理士事務所を経営する中で経理教育の必要性を認識し、北見市幸町のピアソン通りの一角に「北見簿記専門学校」を開校しました。時代・社会に対応するべく、北見商科高等専修学校・北見情報ビジネス専門学校・オホーツク社会福祉専門学校の開校、また専門学校においては開校後も新しい学科の設置を行い、地域のニーズに応える運営をしています。本学園を巣立っていった学生・生徒は既に一万名を超えています。オホーツク圏30万人の地域におけるオンリーワンを目指し、この地域になくてはならない学園、必要とされ続ける学園を目指して学科設置、施設設備、教育指導体制の充実を進めています。

(2) コンセプト

平成27年（創立60周年）を一つの区切りととらえ、「紡ぐ・一園一家」というコンセプトを掲げています。北海道や筑豊には多くの炭鉱があり、一つの山に関わる人は皆、家族同様であるという考えを「一山一家」という言葉で表現していた事を引用し、栗原学園に係る学生・生徒・教職員・関係者は全て一つの家族であるとの考えからこのようなコンセプトを掲げ、令和7年（創立70周年）までの中長期コンセプトとしています。

(3) 高等教育の修学支援新制度

令和2年度より実施された、高等教育の修学支援新制度について、北見情報ビジネス専門学校（総合事務科・情報通信科・ホテル観光ビジネス学科）オホーツク社会福祉専門学校（介護福祉科・こども未来学科・歯科衛生士科）2校6学科の全ての学科に対して対象機関に指定されています。修学に支援が必要な学生に適切な支援が受けられる体制を確立しています。

3. 主な活動計画と進捗状況

(1) 教育力の向上

平成30年度より、一つひとつの学校ではなく、「一つの学園」としての質の向上を図る事を目指して取り組む事を学園全体の共通項目として掲げる。

- ・公開授業の実施…質の向上を目指す為に、全職員が公開授業を実施
- ・教職員研修会の充実…外部講師を招いての研修、教職員ディスカッション・プレゼンテーションの実施（コミュニケーションスキル・障がいを持つ生徒学生への対応スキル）
- ・自己点検、自己把握の実施…各校各科での取組に対する現状と対応に対するディスカッション・プレゼンテーションの実施
- ・運営実施の確認…文部科学大臣認定、職業実践専門課程認可学科に対する着実な運営実施と、新設学科に関しても同様の運営を行い、認可申請を目指す。

(2) 国家試験・各種専門的試験合格への取り組み

学園コンセプトに基づき、授業カリキュラムの充実のみならず、個別指導の徹底を図る事で、合格率の向上に勤めています。

	資格・検定種目	学科	取得状況
福祉専門学校 オホーツク社会	歯科衛生士	国試 (歯科衛生士科)	合格率 83%
	赤十字ファーストエイドプロバイダー (救急員)	(歯科衛生士科)	合格者 12名
	赤十字ベシックライフサポーター (基礎)	(歯科衛生士科)	合格者 12名
	介護福祉士	国試 (介護福祉科)	合格率 100%
	幼稚園教諭免許「二種免許状」	(こども未来学科)	取得者 31名
	保育士	(こども未来学科)	取得者 34名
	こども環境管理士	(こども未来学科)	合格者 26名
	赤十字幼児安全法支援員	(こども未来学科)	合格者 23名
北見情報ビジネス専門学校	情報処理技術者試験	国試 (情報通信科)	合格者 8名
	ITパスポート	国試 (情報通信科)	合格者 1名
	Oracle Certified Java Programmer, Bronze SE 7/8	(情報通信科)	合格者 1名
	医療秘書検定	(総合事務科)	合格者 12名
	日本商工会議所簿記検定	(総合事務科)	合格者 9名
	全経簿記能力検定	(総合事務科)	合格者 12名
	医薬品登録販売者試験	(総合事務科)	合格者 3名
	ORCA技能検定	(総合事務科)	合格者 20名
	介護事務管理士	(総合事務科)	合格者 9名
	調剤事務管理士	(総合事務科)	合格者 10名
	FP技能検定	(総合事務科)	合格者 5名
	赤十字ファーストエイドプロバイダー (救急員)	(総合事務科/ホテル観光ビジネス学科)	合格者 8名
	赤十字ベシックライフサポーター (基礎)	(総合事務科/ホテル観光ビジネス学科)	合格者 8名
	北海道観光マスター検定	(ホテル観光ビジネス学科)	合格者 2名
	国内旅行地理検定	(ホテル観光ビジネス学科)	合格者 5名
	ドローン検定	(ホテル観光ビジネス学科)	合格者 3名
	ドローン操縦士基礎講習修了	(ホテル観光ビジネス学科)	修了者 3名
	Microsoft Office Specialist Word 2016 Expert	(学科共通)	合格者 1名
	Microsoft Office Specialist Excel 2016	(学科共通)	合格者 4名
	Microsoft Office Specialist Excel 2016 Expert	(学科共通)	合格者 3名
Microsoft Office Specialist Power Point 2016	(学科共通)	合格者 8名	
電卓計算能力検定 (段位2名)	(学科共通)	合格者 9名	
社会人常識マナー検定	(学科共通)	合格者 20名	
北見商科高等専修学校	日本情報処理協会主催		
	①日本語ワープロ (Microsoft Word)		
	②文書デザイン (Microsoft Word)		
	③文書入力スピード日本語		
	④文書入力スピード英語		
	⑤プレゼンテーション作成 (Microsoft Power Point)		
	⑥ホームページ作成 (ホームページビルダー)		
	⑦表計算 (Microsoft Excel)		
⑧データベース (Microsoft Access)			
	8種目中 (1級) 3種目以上	(商業科)	合格者 38名
	全経簿記能力検定	(商業科)	合格者 55名
	全経電卓計算能力検定	(商業科)	合格者 30名

(3) 就職への取り組み

就職内定、進路決定率に関しては全員の就職・進路が決定している状況です。高等専修学校においては、多様化するニーズに応えるべく、積極的に進学・就職先の体験を出来る機会を設け、より定着率の高い進路指導を目指しています。専門学校2校に関しては、それぞれの専門職として就職するにあたり、施設実習、インターンシップでの体験、職業講話等を取り入れ、卒業後の定着率を重視した進路指導に重点をおいています。また、本学園の学生生徒支援組織として、約160企業施設等からなる「栗原学園協力会」にも、雇用問題部会、カリキュラム支援部会等を設置し、会員企業への就職及びインターンシップ・施設実習の支援体制も充実等に取り組んでおります。

- ・就職内定率、進路決定率…97.9% (学園全体)

(4) 観光プランナーとしての実践力養成

北見情報ビジネス専門学校ホテル観光ビジネス学科の取り組みとして、観光プランの作成・実践力を身につける取り組みを行っております。作成したプランを実際に行い、ガイドと観光客の両方の目線を養います。また、プラン実践力を図るため、作成したプランを自ら実践するフィールドワークを行っております。

- ・令和5年度フィールドワーク (大韓民国・札幌)

(5) 資格保有率向上への取り組み

日本商工会議所簿記検定や情報処理技術者試験のCBT試験会場として「栗原学園39キャンパステストセンター」を設置し、卒業までの資格保有率向上を目指しています。

従来は、札幌等の都市部で受験していた試験を学園内で受験できる形にしたため、学生生徒の受験機会の増加や、受験に係る体力・金銭的負担の軽減を実現しています。

また、CBT型のテストセンター設置は、多くの種類の試験を実施することが可能となるため。オホーツク地域の資格受験者が活用できるテストセンターとしても運営をしております。

(6) 外国人留学生の受入

オホーツク社会福祉専門学校への留学生受け入れに伴い、栗原学園シェアハウスを設置し、留学生が通学しやすい環境を整え、留学生の負担軽減を実現しております。